

# カツオ一本釣り船の支援は効果的な手法の検討を



なかしま いちろう  
中島 一郎 議員

**問** 土佐湾沖でカツオの豊漁が続いても、コロナ禍による消費低迷で供給過剰となり、佐賀漁港に水揚げされるカツオの価格は、前年度比の40%程度となっている。

一方、大型カツオ船においても、例年5月から期待できるビンナガマグロとカツオの不漁が相重なり、コロナ禍での魚価低迷も続き、漁業経営は一段と厳しくなってきた。この現状を乗り越えるためにも、新たな支援が必要ではないか。

**答** 今西海洋森林課長

カツオの価格については、新型コロナウイルスの影響によるもので、全国的な問題なので、広域的な取り組みとして、カツオ県民会議等、学識・業界関係者との意見交換の場を活用した情勢把握に努める。また漁業者の生活を守るために、既存の施策を着実に実行し、関係機関との連携のうえ、効果的な手法について検討する。



カツオの水揚げ状況（佐賀漁港・荷捌施設）

**問**

漁業者の経営安定を図るために、水産業経営資金融資制度を設けてから20数年が経っている。今日の諸物価高騰なども考慮して、もう少し漁業者が利用しやすい融資制度にならないか。

**答** 今西海洋森林課長

水産業経営資金融資制度については、平成29年度1件、平成30年度2件、令和元年度1件、令和2年度0件の融資実績となっている。

このコロナ禍での魚価低迷による漁業経営への圧迫感もあり、関連の金融機関や県漁協と協議を重ね検討をしていく。水揚げ促進事業補助金についても、今後の町内の水揚げ状況を注視し、必要な対策として検討する。

また、水揚げ促進事業補助金については、現況町内漁協への水揚げ手数料7%に対し、新型コロナ対策も含め、2%の町の助成により5%の手数料となっている。長期化する需要・魚価低迷を考慮して、3%の助成はできないか。

## 防災対策

### 漁集事業の進ちよく状況は今年度工事発注予定

**問** 佐賀地域では、大雨時における伊与木川の水位上昇から、家屋の浸水被害が度々起きてきた。このことから、漁業集落環境整備事業の基本計画策定のうえ、地域内の浸水対策に取り組むとしていたが、この事業の進ちよく状況は。

**答** 今西海洋森林課長

全体計画は、事業費1億5100万円とした4カ年の整備計画。事業内容は、町分地区への排水機場の整備、避難路、町道の新設、避難広場への屋根設置などの計画となる。

今年度の実施計画は、町分地区排水機場2基の関連調査等と排水ポンプ本体設置工事となっている。



漁集事業の工事予定地（佐賀・町分地区）

#### 【その他の質問】

・宅地造成計画について  
・外国人労働者の支援について